

ホームページ： <http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2017092600030/>

【3月6日頃に改めて開催するか中止するかを判断し、皆様にご連絡します】

●第30回総会・第172回定例研究会

2022年5月22日（日）予定・会場未定

●パネル展 2022年8月23日（火）～2022年9月11日（日）

●シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 2022年6月頃（予定）

【2】中部産遺研会報 2022年3月見学会のご案内 ー実施決定のお知らせー 【追加情報】

中部産業遺産研究会では、下記の通り愛知県瀬戸市にて見学会を実施します。

見学会は当日受付で行います。事前申し込みは行いません。

もしも本見学会の参加者に新型コロナウイルス感染者との間で濃厚接触となった方が出た場合のため、参加者の皆様には参加者名簿に誌名と連絡先をご記入頂きます。この参加者名簿は、瀬戸市の担当課と中部産業遺産研究会とで一定期間保管します。

ご参加になる方は、見学中はマスク着用等、感染予防対策を取って下さい。

なお、見学会開催前の2週間の間（3月6日～20日）に新型コロナウイルスに感染した方、感染者と濃厚接触した方および開催当日に発熱等、体調不良のある方は参加しないで下さい。

中部産業遺産研究会 2022年3月見学会 開催詳細は次の通り。

◆日時：2022年3月20日（日）午後1時30分～4時 現地集合

◆場所：旧山繁商店（瀬戸市仲切町・深川町）

◆見学対象物件：国登録文化財 離れ（明治22年）、事務所（昭和22年）、
旧事務所（大正年）、土蔵（明治36年）、新小屋（大正3年）、前倉庫（昭和初期）、
中倉庫（昭和22年）、奥倉庫（昭和25年）、塀（明治中期）

◆案内解説：2時間程瀬戸市文化課課長補佐兼文化財係長 佐野 元氏ら予定

◆見学の目的：旧山繁商店は2015年（平成27）年11月17日に国登録文化財に登録されたが、市の保存の予算が付かないままで推移している。
文化財課は市民や各団体から保存と活用のアイデアなどを集めるために見学会を開いている。研究会としても見学して保存活用の知恵や全国各地の先進事例などを

提言して文化財課や地元が動けることに協力してはどうかと考える。

当日見学者から保存活用のアイデア、全国の先進事例の紹介、財政活動の提案など意見感想を多く寄せてくれることを文化財課は期待している。

◆見学の見どころ：旧山繁商店は、明治、大正、昭和にかけて建築されているので、3代にかけての建築構造を見ることができる。三代繁太郎逝去後、建造物が登録文化財となり、陶磁器卸問屋商品、絵付け加工工場などがそのまま残されている。山繁商店の場所は、瀬戸蔵ミュージアムから北へ徒歩10分ほどのところにあり、周辺には丸一国府商店、古民家久米邸、無風庵、新世紀工芸館などがある。

◆沿革など：1885（明治18）年初代加藤繁太郎は陶磁器卸問屋「山繁陶磁器商店」を起業。繁太郎は明治20～30年代の瀬栄組、本業合資会社、瀬戸銀行、瀬戸自動車（株）の設立に関与。明治34～36年には北海道樺太から九州大分まで全国各地の取引記録が帳簿に残る。明治38年「瀬戸の陶業」に北新谷地区の「巨工富商」としてされ、瀬戸屈指の陶磁器卸問屋となる。大正7年東京に丸寿商店を開設。昭和14年中国上海に支店を開設。昭和18～20年軍需用ネジなど生産。戦後昭和21年陶磁器卸売業を再開、東京丸寿商店を山繁東京出張所として、南洋向け貿易陶磁器の加工完成業を行う。昭和25年に絵付け加工場を増設し企業成長を成し遂げた。同38年三代繁太郎が瀬戸市長に当選。2006（平成18）年逝去。

◆駐車場は山繁商店の南に空き地があり5～6台しか止められない。道が細く大変判りにくい。瀬戸蔵ミュージアムは1時間無料で有料の駐車場があります。

◆旧山繁商店は瀬戸市のホームページからも見ることが出来ます。参考にして下さい。のんびりじっくりせとマップ「歴史ある建物を巡るコース」は次のリンクにあります。

歴史ある建物を巡るコース－表紙・裏表紙

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2018/05/ed1cabbcbfd9ff3783e02e5f52cb060a.pdf>

歴史ある建物を巡るコース－近代瀬戸の風景

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2018/05/e3c0b7f6a6340f31a334f926c3be84a7.pdf>

歴史ある建物を巡るコース－関連文化財

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2019/04/d82a36d3db3aef370499b6d1a35e951d.pdf>

歴史ある建物を巡るコース－マップ

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2018/05/bbe89072e58b6f3d28370247cef9c74e.pdf>

◆当日尾張瀬戸駅で12:30～13:10 研究会の旗を持って大橋副会長が案内します。

【3】『産業遺産研究 第29号』、「中部産遺研会報」の原稿募集について【New】

／会誌・会報編集委員会 石田正治

以下の通り『産業遺産研究 第29号』および『中部産遺研会報』の原稿募集を致します。
詳細は以下の通りです。

1. 『産業遺産研究 第29号』

(1) 査読論文等（論文、調査報告、研究ノート）

- ・ 投稿申し込み 2022年4月15日まで
タイトルと概要（200字程度）を石田正治宛連絡
電子メールアドレス：ishida96@tcp-ip.or.jp
- ・ 投稿原稿提出期限 2022年4月30日（土）
執筆要綱、投稿要領を参照の上、原稿を作成してください。
4月30日以降の投稿原稿の修正は、査読が終了するまでできません。
- ・ 編集スケジュール
4月30日（土） 原稿受け付け終了
5月5日（木）～6月5日（日） 査読期間
6月10日（金） 査読結果の通知
6月30日（木） 修正原稿提出期限
7月5日（火） 著者校正期限
7月10日（日） 版下原稿、印刷所に送付
7月20日（水） 発行予定（定例研究会7/24または7/31）

(2) 査読論文等以外の諸原稿

- ・ 投稿原稿提出期限 5月29日（日）
5月29日（日）～6月19日（日） 編集期間
6月30日（木） 著者校正期限
7月10日（日） 版下原稿、印刷所に送付
7月20日（木） 発行予定
- ・ 投稿宛先 石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp
440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷14-2

2. 「中部産遺研会報」への投稿原稿締め切り日

会報第86号 原稿締め切り：3月15日（4月15日発行予定）
会報第87号 原稿締め切り：6月15日（7月15日発行予定）
会報第88号 原稿締め切り：9月15日（10月15日発行予定）
会報第89号 原稿締め切り：12月15日（1月15日発行予定）

※会報用テンプレート（一太郎）で作成される場合は、発行日の15日前まで受け付けます。

- ・ 投稿宛先 石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp
440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷14-2

